

令和7年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立小田川小学校長

令和7年4月17日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数、理科の3教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	66.8%					○
算数	58.0%					○
理科	57.1%					○

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	76.9%					○
情報の扱い方に関する事項	63.1%					○
我が国の言語文化に関する事項	81.2%					○
話すこと・聞くこと	66.3%	○				
書くこと	69.5%					○
読むこと	57.5%					○

【考 察】

- 授業や家庭学習において、読解力を高める学習や漢字・語句の練習を継続してきたことで、学年別配当表に示された漢字を文章の中で正しく使う力や、目的に応じて文章と図表などを結びつけながら必要な情報を見つける力が向上しました。
- 「話すこと・聞くこと」の領域には課題が見られました。目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決めて話す活動や集めた材料を分類したり関係付けたりして伝え合う活動等を積極的に授業に取り入れていきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	62.3%					○
図 形	56.2%					○
測 定	54.8%					○
変化と関係	57.5%					○
データの活用	62.6%					○

【考 察】

- 記述式の正答率は、全ての問題で全国平均を上回りました。授業において、答えや問題の解き方の説明だけにとどまらず、その解決方法を選んだ理由や解決に至るまでの自分の考え等を説明する活動を大切にしてきた成果だと考えます。
- 「変化と関係」領域では、問題を解くために必要な条件を見いだす問題や「10%増量」が増量前の何倍になっているかを問う問題において、題意を捉えられていない解答が見られましたので、問題場面の条件を整理して考えることができるよう指導していきます。

【理科：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
エネルギー	46.7%					○
粒 子	51.4%					○
生 命	52.0%					○
地 球	66.7%					○

【考 察】

- 「地球」では、全ての問題で全国平均を大きく上回りました。実験や観察で得た結果をもとに、分析・考察し、自分の考えを説明する力が向上しています。
- 「生命」では、実験器具の使い方に課題が見られました。顕微鏡を操作し適切な像にするための技能が身につけていない解答が見られましたので、像がはっきりと見えるようにするための調節ねじ等の使い方について、繰り返し指導していきます。

令和7年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立小田川小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない
小 6	全 国	3 2 . 6	4 9 . 1	1 5 . 3	2 . 8
	小田川小	4 4 . 4	3 3 . 3	2 2 . 2	0

(単位 %)

【考 察】

- ICTを活用した個別学習や学び方について考える授業実践の効果が表れていると考えられます。また、相互の自主学習の内容を知る機会を設定してきたことで、学び方の工夫にはどのような例があるのかを知り、自らの学びに活かすことができます。
- 今後も児童の実態に合わせた学び方について、個別にきめ細かく対応するよう努めていきます。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小 6	全 国	1 2 . 1	1 2 . 8	2 9 . 1	2 7 . 4	1 2 . 9	5 . 7
	小田川小	0	1 1 . 1	4 4 . 4	4 4 . 4	0	0

(単位 %)

【考 察】

- 本校の「生活のきまり」として推奨してきた家庭学習時間（学年×10分＋20分）を意識して取り組む児童が増え、全ての児童が30分以上の家庭学習等に取り組んでいます。
- 家庭学習への取り組みに対する担任の称賛や家庭学習の成果を見合う場の設定を今後も継続し、更なる学習意欲の向上や学習時間の増加につなげていきます。

3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小 6	全 国	3 1. 2	4 8. 2	1 7. 1	3. 3
	小田川小	5 5. 6	3 3. 3	1 1. 1	0

(単位 %)

【考 察】

- 日頃の授業において、まとめや振り返りを大切にした学習を進めてきたことにより、授業で得た成果や課題を次の学習につなげることができていると考えられます。
- 教科担任制による指導や個別指導、I C Tを活用した個別学習を効果的に実施し、既習内容を活かして自ら積極的に新たな課題に取り組んでいくことができる児童を育てていきます。

4 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小 6	全 国	4 9. 9	4 2. 0	6. 4	1. 5
	小田川小	8 8. 9	1 1. 1	0	0

(単位 %)

【考 察】

- 教育目標「自ら気付き、考え、行動する、心豊かでたくましい子ども」を意識した指導により、学校生活全般において相手のことを考えた言動や立ち居振る舞いが見られるようになったことが、この結果につながったと考えられます。
- 今後も、各種行事や学習場面において、お互いに協力しながら課題解決に取り組むことができるよう指導していきます。